

岐阜大学 (岐阜県)



日本語をみがく秋学期、日本文化に親しみ論文に集中する春学期

■大学紹介

① 大学の特色および概要

●岐阜大学は、5学部、8大学院研究科、学内共同教育研究支援施設、全国共同利用施設、図書館、医学部附属病院などからなる総合大学です。本学は、「大学院教育改革支援プログラム」「戦略的大学連携支援事業」に採択されるなど、広い分野にわたって質の高い教育・研究が行われています。

●岐阜大学のある岐阜市は、東京から約2時間（新幹線利用）、大阪や京都から約1時間（同）、名古屋から約20分という交通の便に恵まれた地方都市です。キャンパスのある柳戸地区は、岐阜駅からバスで約30分、自然豊かな田園地帯にあります。静かな環境に恵まれ、落ち着いた雰囲気の中で勉学に集中することができます。

●学部及び学生数等（平成26年10月現在）

○学部＝教育学部・地域科学部・医学部・工学部・応用生物科学部

○大学院＝教育学研究科・地域科学研究科・医学系研究科・工学研究科・応用生物科学研究科・連合農学研究科・連合獣医学研究科・連合創薬医療情報研究科

○教員 845名

○学生 学部生 5,714名 大学院生 1,532名
研究生・聴講生 116名 合計 7,362名

② 国際交流の実績

●現在、15か国44大学と学術交流協定を結んでおり、活発な国際交流を行っています。

●留学生在籍数 326名（65%が大学院生、33か国1地域から）

●外国人研究者在籍数 16名

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2014年：留学生数 326人、日本語・日本文化研修留学生 10人

2013年：留学生数 328人、日本語・日本文化研修留学生 10人

2012年：留学生数 374人、日本語・日本文化研修留学生 11人

④ 地域の特色

●岐阜県は、日本のちょうど中央にあります。北部には高い山々が連なり、南部には清らかな川が流れています。日本の美しい自然と古き良き文化が残っており、伝統と現代とが調和した生活が見られる地域です。織田信長が城を構えた地としても有名です。

●岐阜県には、高山・郡上など、全国的に有名な観光地があります。岐阜市でも、中央を流れる長良川では伝統的な鶺鴒が行われ、そのほか多くの文化資源に恵まれています。

●岐阜市は、人口約40万人の中規模都市です。大都市より物価が安く、地域コミュニティ間の交流も活発なので、留学生生活を送るのに適した地域です。

【岐阜県内での
和太鼓体験】



■コースの概要

① コースの特色

●日本語・日本文化について深く学ぶことを希望する、学部留学生（日本語・日本文化専攻）のための約1年間のコースです。「日本語」「日本文化」いずれの専攻も可能です。

●日本語能力のレベルに応じて、日本語クラスを受講することができます。そのため、段階的で効果的な日本語能力の向上が可能となっています。

●多彩な日本文化科目を開講しています。受講生の興味・関心に従ってこれらの科目を受講することになります。

●1年間（秋期・春期）で効果的な学習ができるよう、本コース受講生のためのクラスを設けています。

●能・狂言・歌舞伎・相撲の鑑賞、茶道実習、博物館見学などを行い、伝統文化に触れます。

●岐阜県内（郡上市・土岐市など）および近県へ数回、見学や実習の旅行に行きます。

●岐阜大学留学生対象の旅行にも参加することができます。

●日本人学生と交流するクラスも設置しています。また、日本人学生および学部留学生用の授業を履修することも可能です。

●日研生をサポートするチューターがいます。

●本コース修了後、日本の大学院に再留学する修了生も少なくありません。

●修了生の感想をぜひごらんください：

[http://www1.gifu-](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/)

[u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/)

② 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）

※大使館推薦の学生は優先的に受け入れます。

③ 受講希望者の資格、条件等

●在籍大学において日本語・日本文化を主専攻とする学部学生（2年生以上）であること。

●日本語能力試験N2合格以上、あるいはそれに相当する日本語力を有していること。



【大学全景】

④ 達成目標

- 日本語能力の向上を目指すとともに（日本語能力試験N1合格以上）、実体験を通して日本文化についての広い知識を学びます。
- 修了論文作成を通して、研究および論文執筆の基礎を身につけます。

⑤ 研修期間

2015年10月1日 ～ 2016年8月31日
修了式は8月末を予定（2014年は8月21日）

⑥ 研修科目の概要

- 授業は秋期・春期原則各15週開講されます。
- 必要単位数は40単位です。
- 授業科目名は変更される場合があります。

1) 必須科目

- 一週間あたりのコマ数(1コマ=90分)は下記のとおりです。

【授業科目及び授業コマ数・単位数】

授業科目	秋期	春期	計
総合日本語	5 (5単位)	—	5 (5単位)
全学共通教育科目	—	2 (4単位)	2 (4単位)
日本語読解演習	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語文章表現	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語口頭表現	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語聴解演習	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
現代日本の社会	1 (2単位)	—	1 (2単位)

近代化と日本人	1 (2単位)	—	1 (2単位)
クロスカルチャーコミュニケーション	1 (2単位)	—	1 (2単位)
日本の表象文化	1 (2単位)	—	1 (2単位)
岐阜の地域文化	—	1 (2単位)	1 (2単位)
論文指導	—	1 (1単位)	1 (1単位)
修了論文	—	(4単位)	(4単位)
合計	13 (21単位)	8 (19単位)	21 (40単位)

【日本語科目】

- 「総合日本語」
中上級レベルの文法・語彙・口頭表現・文章表現など、総合的な日本語能力の向上をはかります。
- 「日本語読解演習」「日本語文章表現」「日本語口頭表現」「日本語聴解演習」
個別の日本語能力の上達をめざします。

【日本文化科目】

- 「現代日本の社会」「近代化と日本人」「日本の表象文化」「岐阜の地域文化」
日本の社会と文化を学び、自国の社会と文化との相違を認識します。これらは本コース受講生のみを対象とした科目です。
- 「クロスカルチャーコミュニケーション」
日本人学生とのディスカッションを通して、多文化社会についての理解を深めます。

【論文指導】

問題意識を高めた上で、論文の作成に進みます。論文完成后、岐阜大学サテライトキャンパスで論文発表会を開催します。

●2014年度日本語・日本文化研修生の修了論文テーマ

- ・日越(ベトナム)女性の社会進出の変遷
- ・韓日笑芸の盛衰
- ・災害と多文化共生
- ・日本とニュージーランドの庭園の比較
- ・海女の仕事と現状
- ・日本には「徒弟教育」があるか
- ・オノマトペにおける日本語と中国語の比較
- ・長良川鵜飼の文化戦略
- ・ベトナム労働力輸出と研修・技能実習制度

2) 見学、地域交流等の参加型科目

秋学期には、県内見学旅行、伝統衣装装着体験が、春学期には、能・狂言ワークショップ、茶道実習、和太鼓実習、陶芸体験、大相撲観戦、歌舞伎鑑賞等が予定されています。「岐阜の地域文化」では、地域の博物館を訪ねます。

3) その他の講義、選択科目等

大学の全学共通科目を選択して、日本語・日本文化研修コースの一部として履修することも可能です。ただし、十分な日本語能力と担当教員の許可が必要です。

⑦ 年間行事

- 10月：秋学期ガイダンス・開講式
- 11月：大学祭、県内見学旅行
- 12月：論文テーマ決定
- 4月：春学期ガイダンス・茶道実習（～7月）
- 5月：郡上踊りワークショップ
- 6～7月：和太鼓実習・陶芸体験・大相撲観戦・能及び狂言ワークショップ
- 7月：歌舞伎鑑賞
- 8月：修了論文提出・修了論文発表会・論文審査・成績判定・修了式



【岐阜県内での陶芸体験】

⑧ 指導体制

- 留学生センター教員が責任教員（指導教員）となり、責任をもって勉学・生活面の指導をします。
- 責任教員のほかに、留学生の専門分野や興味・関心をもつ分野の関係教員が、協力教員として指導にあたります。

【責任教員】

氏名	所属	職名	専攻
森田晃一	留学生センター	教授	日本文化史
土谷桃子	留学生センター	准教授	日本文学

【協力教員】

他の留学生センター教員、地域科学部・教育学部の教員、非常勤講師など

⑨ コースの修了要件

- 日本語・日本文化研修コースで規定されている講義科目を受講し、出席率を満たした上で、一定の成績を修めて必要単位を取得すること、修了論文を執筆し口頭発表することが修了要件です。
- 単位認定・単位互換は、在籍大学との交渉を通じて可能です。在籍大学に確認してください。



【修了論文発表会】

■宿 舎

- 岐阜大学には、大学内に外国人留学生・研究者用の宿泊施設である国際交流会館があります。
- 日本語・日本文化研修コース受講生は、この宿舎が優先的に提供されます。過去の本コース受講生は、全員本宿舎に入居しています。

【国際交流会館】

鉄筋コンクリート4階建（A棟）・5階建（B棟）
部屋数 単身室69室・夫婦室14室・家族室7室
（単身室A棟5,900円/月・B棟4,700円/月）



【国際交流会館の外観とロビー】



【能楽ワークショップ】

■修了生へのフォローアップ

- 岐阜大学の日研生コース修了者の特色は、再来日し日本の大学院に入る学生が多いことです。日本への再留学を希望する学生には、随時進路相談に乗っています。

- 過去には、岐阜大学をはじめ、全国各地の国立大学の大学院に進学しています。

- 大学院修了後、日本で就職した学生、帰国して日系企業に就職した学生がいます。

- 本コース修了生がたびたび岐阜大学を訪問してくれることを、とても嬉しく思っています。Facebookでも継続的に交流しています。

■問い合わせ先

担当部署：岐阜大学学術国際部国際企画課
留学生支援室

住所：〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

Phone：+81-58-293-2146（直通）

Fax：+81-58-293-2143

Email：direcent@gifu-u.ac.jp

担当教員：

森田晃一：moritak@gifu-u.ac.jp

土谷桃子：momokot@gifu-u.ac.jp

岐阜大学留学生センターホームページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/index.html>

（Facebookもご覧ください）

岐阜大学ホームページ

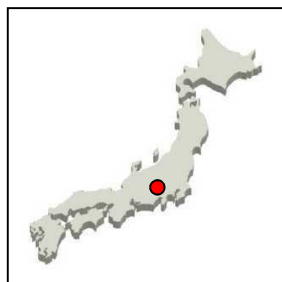
<http://www.gifu-u.ac.jp/>

日本語・日本文化研修コースホームページ

http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/



【2014年度修了生】



Gifu University (Gifu)



Polish up Your Japanese Language in Autumn,

Indulge Yourselves in Japanese Culture and Dedicate Yourselves to Theses in Spring

■ Overview of Gifu University

1. Gifu University:

●Gifu University is a national university that maintains 5 faculties (Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, and Applied Biological Sciences) and 8 graduate schools. There are a number of search and education centers (International Student Center, Information and Multimedia Center, Library, etc.). The University offers a high quality education and research in many areas, and has been selected as one of the “Good Practice” for its teaching and research.

●Gifu City is conveniently situated only 2 hours to Tokyo and 1 hour to Osaka and Kyoto by bullet train, and 20 minutes to Nagoya. The main campus is in *Yanagido*, a suburb of Gifu City, 30 minutes from Gifu Station. Away from city bustles and noise and surrounded by rice fields and mountain forests, the campus is an ideal place to study in tranquility.

●Faculties and Student/Staff Numbers (as of October 2014)

○Faculties (Undergraduate): Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, Applied Biological Sciences

○Graduate Schools: Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, Applied Biological Sciences, United Graduate School of Agricultural Science, United Graduate School of Veterinary Sciences, United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences

●Academic Staff: 845

●Students: 5,714 undergraduates, 1,532 post-graduates, 116 non-degree seeking students; Total: 7,362

2. International Exchange:

●Gifu University promotes international exchange, and has agreements with 44 universities in 15 countries for academic and student exchange.

●Number of International Students :326 (65% are postgraduates from 33 countries and 1 region)

●Number of International Researchers: 16

3. Number of International students and this course students in the last three years:

2014:International Students 326, This Course students 10

2013:International Students 328, This Course students 10

2012:International Students 374, This Course students 11

4. Special Features of Gifu Prefecture:

●Gifu Prefecture is situated in the center of Japan, surrounded by high mountains in the north, and with many rivers and water falls in the south. It is blessed with scenic beauty and traditional culture combined with a modern lifestyle. Gifu is also known as a city where *ODA NOBUNAGA* built his castle.

●There are many famous places for tourism in the prefecture such as *Takayama*, *Gujo*. The *Nagara* River runs through Gifu City where the century-old practice of cormorant fishing is observable as another cultural attractions.

●Studying at Gifu University offers a variety of advantages to international students of Japanese language and culture: exposure to the traditional culture of Japan in a medium-sized city of 400,000 people, opportunities to mix with friendly local communities, a low cost living, and a spacious and natural environment.



■ Course Outline

1. Characteristics of the Course:

●This is a one-year course designed for undergraduate students of Japanese language and culture. You can major in either “Japanese Language” or “Japanese Culture”.

●The students are placed in the most appropriate level of Japanese class according to their language ability. Therefore a progressive and effective development of their Japanese proficiency can be expected.

●A variety of culture classes are offered to suit the students’ research interest.

●Classes in this course are designed only for Japanese Language and Culture Studies students and to provide the most effective training/learning experience during their one-year stay at Gifu University.

●The course includes practice of Tea ceremony, field trips to see performing arts (*Noh*, *Kyogen*, *Kabuki*), sports (*Sumo*), to museums in order to appreciate traditional culture of Japan.

●Several field trips within Gifu Prefecture (*Gujo*, *Toki*, etc.) and to nearby prefectures are included in the course to deepen students’ understanding and appreciate Japanese culture.

●The university also offers a field trip for overseas students during the summer break.

●The program also includes a cross-cultural communication class that provides students opportunities to mix with Japanese students.

●Classes for Japanese students can be taken.

●Tutors (Japanese students) willingly assist your study and life.

●Not a few students who finished this course came back to Japan to study through Master course.

●Please read comments from our graduates:

[http://www1.gifu-](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/messages/)

[u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/messages/](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/messages/)

2. Number of students accepted: 10

(Embassy recommendation: 5, University recommendation: 5)

※Students with embassy recommendation will be given the first priority.

3. Qualifications and Conditions for Application:

●Applicants must be regular students (second year or above) in an undergraduate program at their home university.

●Applicant must be majoring or double-majoring in Japanese language and Japanese studies at their university.

●Applicant must have passed N2 Japanese Language Proficiency Test or demonstrate equivalent proficiency in Japanese.

4. Objectives:

●The objective of this course is to develop their Japanese language proficiency (JLPT N1 Level), and to provide basic knowledge about Japanese culture through real experiences.

●Students also learn a basis of research method and academic writing skills.

5. Period of the course:

October 1, 2015~ August 31, 2016

(Conferment ceremony will be given at the end of August. In 2014, it was on August 21.)



【Nohgaku Workshop】

6. Outline of the subjects:

●Each semester (Autumn, Spring) consists of 15 weeks.

●Required credits: 40

●Subjects' titles are subject to change.

1) Compulsory subjects:

●The following are compulsory subjects per week (one class is for 90 minutes).

【Subjects and class number (credits)】

Subject	Autumn	Spring	Subtotal
Japanese (Regular)	5 (5)	—	5 (5)
General Subjects for Japanese Students	—	2 (4)	2 (4)
Japanese (Reading)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Writing)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Oral)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Listening)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Contemporary Japanese Society	1 (2)	—	1 (2)
Modernization and the Japanese	1 (2)	—	1 (2)
Cross-Cultural Communication	1 (2)	—	1 (2)
Japanese Culture and Representation	1 (2)	—	1 (2)
Culture in Gifu	—	1 (2)	1 (2)
Thesis Supervision	—	1 (1)	1 (1)
Thesis	—	(4)	(4)
Total	13 (21)	8 (19)	21 (40)

【Japanese Language Subjects】

●Regular Japanese classes: develop the student's overall proficiency in intermediate and advanced levels of Japanese including grammar, vocabulary, communication, and writing skills.

●Independent classes: focus on reading comprehension skills, academic and thesis writing skills, oral presentation skills and listening skills for discussion and seminar presentation.

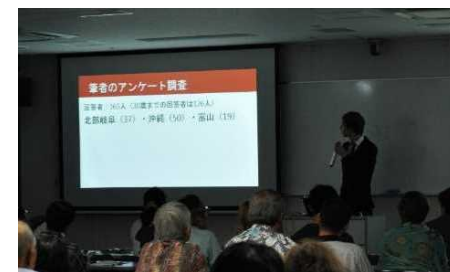
【Japanese Culture Subjects】

●Culture Subjects: Contemporary Japanese Society, Modernization and the Japanese, Japanese Culture and Representation, and Culture in Gifu aim for the students to learn about various aspects of Japanese culture. The students are encouraged to compare Japanese culture with their own cultures in order to appreciate the differences and similarities between different cultures. These subjects are specially designed for this course students.

●Cross-cultural Communication: Recognition of cultural differences and similarities can be further enhanced by discussion with Japanese students in the Cross-cultural Communication class.

【Thesis Supervision】

The awareness of the importance of cultural understanding will lead to the selection of a thesis topic. Final thesis presentations will be held at Gifu University Satellite Campus.



【Theses Presentation】

【Thesis topics in 2014】

- Japanese and Vietnamese women's social advancement
- Growth and decay of Korean and Japanese comedy
- The comparison between Japanese and New Zealand gardens
- Does an apprentice training system exist in Japan?
- The comparison of onomatopoeia between Japanese and Chinese language
- Cultural Strategy for ukai, cormorant fishing, on the Nagara River

2) Excursion, Field trip

Field trip in Gifu prefecture and traditional Japanese costume experience (in the autumn semester), *Nohgaku* workshop, practice of Tea ceremony, *Wadaiko* experience, pottery experience, watching *Sumo* and *Kabuki* (in the spring semester) are planned. You also visit Gifu Museum in "Culture in Gifu" Class.

3) Elective Subjects

Apart from the above-mentioned subjects, the University offers subjects for degree-seeking overseas students, and general subjects for Japanese students can be taken in place of this program's subjects, depending on the student's Japanese proficiency and subject to the approval of the student's supervisor.

7. Events and Schedule

- Oct. Guidance for autumn semester, Opening ceremony, Class start
- Nov. Field trip, University Campus festival
- Dec. Selection of a thesis topic
- Apr. Guidance for spring semester, Practice of Tea ceremony (until July)
- May. Gujo Dance Workshop
- Jun.~Jul. Pottery, *Sumo*, *Nohgaku* and *Wadaiko*
- Jul. *Kabuki* watching
- Aug. Thesis submission, Thesis presentation, Conferment ceremony



【Wadaiko experience】

8. Supervision

- The following academic staff of the International Student Center (ISC) offer individual supervision on academic matters and the students' welfare at Gifu University.
- If necessary, depending on the students' research topic, other academic staff members of the Center and Faculties will support the supervision.

【Chief Supervisors】

Name	Center	Position	Expertise
MORITA Koichi	ISC	Professor	History of Japanese Culture
TSUCHIYA Momoko	ISC	Associate Professor	Japanese Literature

【Supporting Staff】

Other academic staff of the International Student Center, and the Faculties of Regional Studies and Education are included as supporting staff.

9. Requirements for Completion of the Course

- To complete the course, you must take all compulsory and some elective subjects with satisfactory attendance and results, write a thesis and make a presentation.
- Credit points for transfer can be arranged by negotiation with the students' home universities.



【Students who finished this course in August 2014】

■ Accommodation

- Gifu University International House is established to provide accommodation for international students.
- Accommodation at the International House will be provided to all students of this course.

【Gifu University International House】

4 floors (Building A), 5 floors (Building B)

Number of Rooms: 69 single rooms, 14 rooms for married couples, 7 rooms for couples with children.
(Single room Building A: ¥ 5,900 per month, Building B: ¥ 4,700 per month)

■ Follow up for Graduates

- Not a few graduates of this course come back to Japan to study at graduate courses. We are happy to support the students who wish to do so.
- In the past, our graduates enter graduate courses of Gifu University and other national universities in Japan.
- After finishing graduate courses, they are employed in Japanese company in Japan and in their home countries.

- Graduates who visit us are always welcomed! We enjoy talking with them. We also constantly contact graduates through Facebook.

■ Contact Address

International Student Affairs Office, Gifu University
Address: 1-1 Yanagido, Gifu city, 501-1193 JAPAN
Phone: +81-58-293-2146 (Direct)
Fax: +81-58-293-2143
E-mail: direcent@gifu-u.ac.jp

Course coordinators

Prof. MORITA, Koichi: moritak@gifu-u.ac.jp

Asso. Prof. TSUCHIYA, Momoko:
momokot@gifu-u.ac.jp

Gifu Univ. ISC URL:

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/index.html>

(Also try our Facebook page)

Gifu Univ. URL: <http://www.gifu-u.ac.jp/>

Special site for this course:

http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/

General Information for Incoming International Students

Academic Calendar for 2015

First Semester starts	April 1
Spring Break	April 1-9
First Semester classes start	April 10
Summer Break	August 7 – September 30
Second Semester starts	October 1
Second Semester classes start	October 1
Winter Break	December 26 – January 5
Second Semester ends	March 31



Each faculty will decide the start and the end of classes as well as the period of examinations. In principle, last 2 weeks of July and February are usually set for the examination period every year. Most classes and examinations end by the beginning of August and March.

Japanese Course

The International Student Center offers the Japanese courses for foreign students. Exchange students can take some of these Japanese classes as well.

Orientation and a placement test are conducted at the beginning of April and October.

Tuition Fees and Other Expenses

Gifu University exchange students are exempted from paying application fees, registration fees, and tuition, but they are responsible for transportation, accommodation, food and other personal expenses.

Accommodation

University exchange students are provided with single rooms in the Gifu University International House (located within the university campus) during their studying period.

All single rooms are equipped with a refrigerator, desk, desk lamp, chair, bookshelf, bed, wardrobe, air conditioner, curtains, trash box, and shoe cabinet. There is one kitchen for shared use on every floor. All rooms in Building A are equipped with a bathroom, but the rooms in Building B have toilets only. There is a shower room on each floor of Building B. Smoking is prohibited in all areas of the university including International House.

1. Rent

(2015/2/1)

Type of Room	Rent (per month)	
	Building A	Building B
Single	5,900 yen	4,700 yen
Couple	11,900 yen	9,500 yen
Family	14,200 yen	14,200 yen

▶▶ Residents must pay the full monthly rent even if they move in or leave the House in the middle of a month.

2. Utilities

- (1) Charges are determined by the reading of a meter installed in each room.
- (2) Charges for shared use are evenly divided and paid by individual residents: 2,400 yen



Single Room

3. Deposit

Type of Room	Deposit
Single	30,000 yen
Couple	35,000 yen
Family	40,000 yen

- ▶▶ In time of leaving, after all the payments are made, any surplus money will be refunded from the deposit, and additional money will be charged if the deposit turns out to be insufficient.

4. Payment

- (1) The new residents are expected to pay the first month's rent and other expenses in cash.
- (2) From the second payment onwards, monthly payment is to be made by an automatic money transfer from the bank account opened by the resident (*the bank designated by Gifu University: Kurono Branch of Juroku Bank).



International Students Summer Trip



Traditional Culture Experience

General Information for Students

学年暦 2015年度

ぜんがっきかいし 前学期開始	4月1日
はるやす 春休み	4月1日～4月9日
ぜんがっきじゅうぎょうかいし 前学期授業開始	4月10日
なつやす 夏休み	8月7日～9月30日
こうがっきかいし 後学期開始	10月1日
こうきじゅうぎょうかいし 後学期授業開始	10月1日
ふゆやす 冬休み	12月26日～1月5日
こうがっきしゅうりょう 後学期終了	3月31日



※ 授業及び試験の期間はそれぞれの学部/研究科で定められます。
通常 7月末から8月初めと2月の2週間は試験期間で9月、3月は通常の授業はありません。

日本語コース

留学生センターでは、留学生に日本語コースを開講しており、希望者は受講することができます。
日本語コースの説明会及びプレイスメントテストは4月初旬及び10月初旬に行います。

授業料及びその他の費用

交換留学生の入学検定料、入学料、授業料は徴収しません。旅費、宿泊費、食費等などの個人経費は学生の個人負担です。

学生宿舎

交換留学生には、留学期間中キャンパス内にある「岐阜大学国際交流会館」の単身室が用意されています。

単身室には、冷蔵庫、机、電気スタンド、イス、本棚、ベッド、洋服タンス、エアコン、カーテン、ゴミ箱、下駄箱があります。キッチン各階に1部屋あり共同で使します。A棟の各部屋にはユニットバス(トイレ付き)があります。B棟の各部屋にはトイレのみあります。B棟にはシャワールームが各階にあり、共同で使します。なお岐阜大学は全学禁煙のため、国際交流会館内でもタバコを吸うことはできません。

1. 寄宿料: (2015/2/1)

居室区分	留学生の寄宿料 (月額)	
	A棟	B棟
単身室	5,900 円	4,700 円
夫婦室	11,900 円	9,500 円
家族室	14,200 円	14,200 円

※ 月の中途において入居又は退去する場合でも1か月分の寄宿料を納めなければなりません。

こうねつすいりょうなど
2. 光熱水料等

- (1) 居室の専用メーターにより、算出した光熱水料使用実績額
(2) 共用施設の光熱水料及び消耗品等で、入居者が均等割りで負担する経費は、2,400円です。



よたくきん
3. 預託金

きよしつぶん 居室区分	よたくきんがく 預託金額
たんしんしつ 单身室	30,000円
ふうふしつ 夫婦室	40,000円
かぞくしつ 家族室	50,000円

※この経費は、退去時に精算を行ない、
へんかんまた ついかちょうしゅう
返還又は追加徴収します。

しはら ほうほう
4. 支払い方法

- (1) 入居した月については、寄宿料等を現金で支払ってください。
(2) 入居した月の翌月以降の支払いはその口座から自動的に振り替える方法により行います。十六銀行 黒野
してん ふつうよきんこうざ かいせつ
支店の普通預金口座を開設していただきます。



りゅうがくせいけんがくりょこう
留学生見学旅行



でんとうぶんかたいけん
伝統文化体験